

令和7年度 国立大学法人 九州工業大学

総合型選抜

予測不可能なこの時代に可能性を切り拓く
“未来の自分”をデザインする入試



受験スケジュール

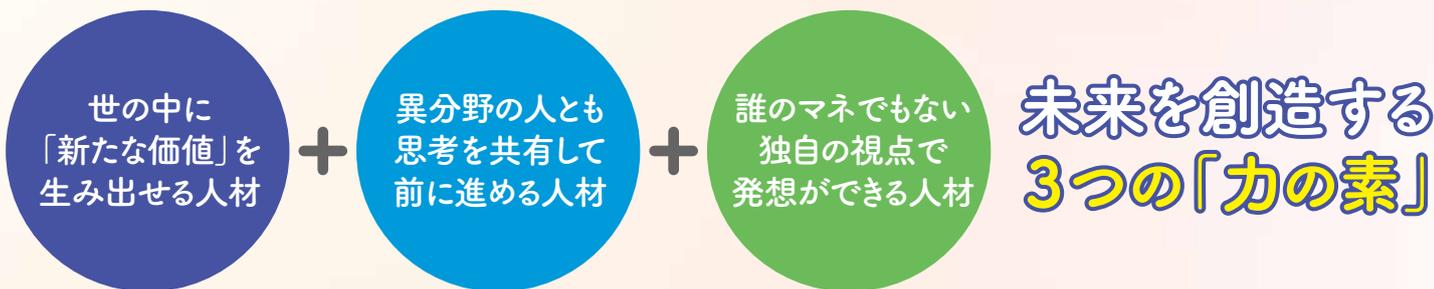
	9月上旬	9月中旬	9月下旬	10月中旬	11月上旬	12月上旬～3月末	4月
総合Ⅰ	出願	第1段階選抜 (戸畑・大阪)	第1段階 合格発表	第2段階選抜 (戸畑)	合格発表	入学前教育	入学
	<提出書類> ● 調査書	● レポート ● 課題解決型記述問題 ● 適性検査(数学・理科・英語)			● 学びの計画書 ● グループワーク ● 個人面接		
総合Ⅱ	12月中旬	12月下旬	1月中旬	2月上旬	2月中旬	4月	
	出願・ 第1段階選抜 (書類審査)	第1段階 合格発表	大学入学 共通テスト	第2段階選抜 (戸畑)	合格発表 入学前教育	入学	
<提出書類> ● 調査書 ● 高校入学後の活動に関する記述				● 大学入学共通テストの成績 ● グループワーク	● 課題解決型記述問題 ● 個人面接		

予測不可能なこの時代に可能性を切り拓く“未来の自分”をデザインする入試

未来を創造する 3つの「力の素」。

九州工業大学は、1909年の創設以来、社会に求められる優れた技術者を輩出しつづけてきました。大きく変化していく社会の中で、これからも新しい価値を生み出していくためには、一般選抜では評価することが難しい多様な資質・能力を持つ人材を育てていく必要があります。この総合型選抜では、皆さんの持つ様々な力を、時間をかけて多面的・総合的に評価しています。

■これからの社会に求められる人物像とは？



これからの社会に求められるエンジニアとは、グローバルに活躍し続けるためには欠かせない3つの「力の素」を持ち、主体的に思考・表現することで未来を創造していける人材です。

キミの「力の素」を知るための“総合型選抜”

■九工大の総合型選抜のPOINT

POINT 1 高校までを振り返り、なりたい自分がイメージできているかを評価

総合Ⅰ（大学入学共通テストを課さない）



レポート（第1段階）※

大学の講義を視聴しレポートを作成します。「わからないことにも向き合う力」「情報をまとめる力」などを評価します。



学びの計画書（第2段階）

体験してきたこととそこから学んだことを結びつけながら、大学入学後には何をどのように学びたいかを記述します。

総合Ⅱ（大学入学共通テストを課す）



高校入学後の活動に関する記述

高校入学以降に授業や検定、部活動、ボランティア活動など取り組んできたことを振り返り、そこで得たものを大学入学後の学びにどう活かそうと考えているかを記述します。
活動は賞を取ったものである必要はありません。

POINT 2 他者と協働しながら、ともに高め合おうとする態度を評価

総合Ⅰ・総合Ⅱ共通

総合Ⅰ・Ⅱともに課題解決型記述問題、グループワークと面接を行い、理工系の技術者・研究者に欠かせない「チームで協働する力」「これまでに学んできた知識を応用する力」を評価します。



課題解決型記述問題※

総合Ⅰ（第1段階）・総合Ⅱ（第2段階）で実施

小中学校・高等学校で学ぶ算数・数学、理科及び情報の内容をもとにした総合的な問題1つについて、図なども用いて解答します。



グループワーク 第2段階で実施

受験生数名でグループとなり、与えられるテーマについてディスカッションします。他のメンバーの意見を発展させ、グループでの議論を活性化させるため、リーダーシップやフォローシップなど、それぞれに役割を果たしているかが評価の対象になります。

※ 昨年から一部変更

工学・情報工学に関する専門系科目の講義動画を1つ視聴し、その講義で重要だと考えられるキーワードを抽出した上で内容を要約してもらいます。また、動画の視聴を通じて感じた入学までの学びの必要性についての考察を記述し、レポートとして提出してもらいます。

※ 昨年から一部変更

令和7年度より総合Ⅰは、小中学校・高等学校で学ぶ算数・数学、理科及び情報の内容をもとにした総合的な問題1つについて、解答してもらいます。

総合型選抜



令和7年度からの変更点と配点

総合Ⅰ

- レポート&課題解決型記述問題において、**テーマの選択式を廃止**
- 英語資格・検定試験のスコア利用方法を「**加点方式**」から「**置き換え方式**」へ変更
- 適性検査を**第1段階選抜での実施に変更**
- 第1段階選抜と第2段階選抜の得点に基づいて、**総合的に合否を判定する方法に変更**

評価項目	第1段階選抜	第2段階選抜
調査書 ^{※1・2}	—	—
レポート ^{※2}	100点	20点
課題解決型記述問題 ^{※2}	150点	30点
適性検査(数学、理科、英語)	520点	130点
学びの計画書 ^{※2}	—	80点
グループワーク	—	120点
個人面接	—	100点

総合Ⅱ

- 課題解決型記述問題(第2段階選抜)において、**テーマの選択式を廃止**
- 英語資格・検定試験のスコア利用方法を「**加点方式**」から「**置き換え方式**」へ変更
- 大学入学共通テスト**数学、地歴公民の科目の変更**
- 大学入学共通テストに**科目「情報Ⅰ」を追加**

評価項目	第1段階選抜	第2段階選抜
調査書 ^{※1・2}	100点	—
高校入学後の活動に関する記述 ^{※1・2}	200点	—
大学入学共通テスト	—	975点
課題解決型記述問題 ^{※2}	—	—
グループワーク	—	300点
個人面接	—	300点

※1 出願時提出 ※2 面接にも活用

VOICE 入学者の声

キャリアや強みをアピールできる総合型選抜がロボットエンジニアの入口に!

私にはグローバルなロボットエンジニアになるという夢があり、高校一年生の頃から九工大を第一志望として、オープンキャンパス等に積極的に参加していました。そこで、総合型選抜についての詳しい説明や、試験科目にあるグループワークの体験に参加し、その試験内容やシステムから、自分の強みやキャリアを大学側にアピールしやすいという点で自分に向いていると感じ、総合型選抜の受験を決意しました。

入学後は、人工衛星開発プロジェクトや、中学生のときに出場したロボットの世界大会の経験を活かし、World Robot Olympiadの大会運営に関わるなど、学修以外の活動にも取り組むことで、将来の夢の実現に少しでも近づけるように努力しています。

工学部 機械知能工学科 制御工学コース **田口 大輝**



総合型選抜への挑戦が将来を考える機会に!

私は、高校時代に工業に関する専門的な学習をしていたわけでも、明確な夢があるわけでもありませんでした。総合型選抜の存在を知り、自分には向いていないと諦めかけましたが、自分を変えるチャンスだと思い挑戦しました。色々な研究室の研究内容を調べ、AIに関する本を読んで自分の夢を追究し、講義動画をレポートにまとめる練習を何度もしました。このときの努力がきっかけで自分のやりたいことが明確になり、今では「人と自然な対話をするAI」の研究に携わることを目標に学んでいます。

もともと特別な経験や能力を持っていなくても、受験を通して新しい能力を身につけることができます。総合型選抜に合格するような自分になりたい、という強い意思を持ち、そのための行動ができれば、きっと大丈夫です。

情報工学部 知能情報工学科 人工知能コース **江本 菜由莉**



「類」選択と「学科・コース」選択

大学での学びを通して進学する学科を選択することで、進路選択のミスマッチを無くし、社会的ニーズに応えられる人材を育成します。

選抜区分ごとの募集人員は6月頃の発表になります

入試の「類」選択			2年生進級時の進路選択「学科・コース」選択				
専門分野	入試の「類」選択	募集人数(全体)	対象の「類」	学科	定員	コース	
工学部	土木／建築学	工学1類	80名	工学1類	建設社会工学科	80名	● 建築学コース ● 国土デザインコース
	機械／制御／宇宙	工学2類	165名	工学2類	機械知能工学科	136名	● 知能制御工学コース ● 機械工学コース
	電気／電子／通信／情報／宇宙	工学3類	144名	工学2類 工学3類 工学5類	宇宙システム工学科	55名	● 機械宇宙システム工学コース ● 電気宇宙システム工学コース
	応用化学	工学4類	74名	工学3類	電気電子工学科	126名	● 電気エネルギー工学コース ● 電子システム工学コース
	マテリアル／金属／環境／宇宙	工学5類	68名	工学4類 工学5類	応用化学科 マテリアル工学科	74名 60名	● 応用化学コース ● マテリアル工学コース
情報工学部	情報／通信	情工1類	177名	情工1類 情工2類	知能情報工学科	93名	● データ科学コース ● 人工知能コース ● メディア情報学コース
	情報／機械／制御	情工2類	110名	情工1類 情工2類	情報・通信工学科	93名	● ソフトウェアデザインコース ● 情報通信ネットワークコース ● コンピュータ工学コース
	情報／電子／応用化学／生命科学／マテリアル	情工3類	123名	情工2類	知的システム工学科	94名	● ロボティクスコース ● システム制御コース ● 先進機械コース
				情工3類 情工2類	物理情報工学科	65名	● 電子物理工学コース ● 生物物理工学コース
				情工3類 情工2類	生命化学情報工学科	65名	● 分子生命工学コース ● 医用生命工学コース

Q&A よくある質問

Q 出願に必要な基準はありますか？

評定や資格等の基準はありません。

Q 学校長の推薦が必要ですか？

必要ありません。

Q 他大学との併願はできますか？

合格した場合、入学が確約できる人のみ受験できます。

Q 特別な勉強が必要ですか？

特別な勉強は必要ありません。
高校生活全般に積極的に取り組んでください。

Q 適性検査はどのようにして行われますか？

大学で用意したタブレットを用い、選択式問題に解答するものです。

Q 学部を超えた類志願とは？

総合型選抜では第一志望と異なる学部の類を第2・3志望に選ぶことができます。(必ずしも第2・3志望を選ぶ必要はありません)

Q 合格者は、入学までに特別なことをしますか？

総合Ⅰ・Ⅱの合格者を対象に、オンライン等での入学前教育を実施します。

Q 不合格となった場合、九工大の他の選抜区分に出願できますか？

総合Ⅰで不合格となった場合は本学の総合Ⅱ、学校推薦型選抜Ⅰ・Ⅱ、一般選抜に出願することができます。



国立大学法人
九州工業大学

お問合せ

高大接続センター アドミッションオフィス

TEL 093-884-3218 FAX 093-884-3060

E-mail nyu-admission@jimu.kyutech.ac.jp



2024.02